

福岡 古代ロマンの旅

vol.3

～福岡県の神社と神功皇后 編～

福岡県の神社といえば太宰府天満宮と博多祇園山笠の聖地・櫛田神社が全国的に有名ですが、福岡県にはこの二社以外にも歴史的に重要な神社が実は数多く存在します。さらに驚くべきことに、福岡県の歴史ある神社の多くが、たった一人の女性との縁で結ばれているのです。

その女性の名は、**息長帯比売命(おきながたらしひめのみこと)**といい、後に**神功皇后**と呼ばれた古代日本のヒロインです。

古事記と日本書紀の記述によれば、神功皇后は筑紫、今の福岡県を舞台に大活躍します。活躍の場所には神社が建立されており、福岡県の神社を巡れば神功皇后の足跡と記紀の世界を味わうことができます。古代ロマンにあふれる福岡県の神社めぐりの旅にぜひお越しください。



福岡県公式観光情報サイト
「クロスロードふくおか」
<http://www.crossroadfukuoka.jp/>

クロスロードふくおか



Find us on
Facebook

福岡県観光連盟 Facebook
<https://www.facebook.com/crossroadfukuoka>



QRコード

公益社団法人 福岡県観光連盟

表紙画像：香椎宮 中門

じん ぐう
神功皇后 伝承 — 日本書紀より —
日本書紀 卷第八・卷第九をもとに作成

日本書紀によれば、「おきながたらしひめ」(※注1)は幼き頃から聡明で容姿端麗であったと云われ、第14代仲哀天皇の皇后(神功皇后)となった。

ある時、筑紫の熊襲が叛いたため、仲哀天皇は熊襲討伐を決定する。すぐに天皇は九州へ向い、皇后にも来るように伝え、穴戸の豊浦津(下関市)で合流した。そこから九州へ渡り、隼県(福岡市)に到着した天皇は檀日宮(香椎)に拠点を構えた。

檀日宮で天皇が群臣と熊襲討伐の軍議を行っている最中、皇后が神憑りし、「熊襲は討つほどの国ではない。それよりも宝がある新羅という国がある」との神託を天皇に与えるが、天皇は神託を信じなかった。その後、天皇は熊襲討伐を強引に進めたが勝てず、檀日宮に戻ると天皇は突然崩御する。(※注2)残された皇后は天皇の子を身ごもっていた。

皇后は重臣の武内宿禰(※注3)らに諮り、天皇の崩御を秘匿し、熊襲を討伐した。次に松峽宮(筑前町)に拠点を移し、朝廷に

従わなかった羽白熊鷲を討ち、山門の田油津姫らを討ち取り、筑紫を平定する。

檀日宮に戻った皇后は神意に沿うため新羅遠征を決意し、身重でありながら男装し自ら戦うことを群臣に誓う。諸国に命じ船舶を集め兵士を訓練したのち、吉日を占い出発。神々のご加護もあり、無事に渡海。ほとんど戦うことなく新羅に朝貢を約束させ、次いで高句麗、百済も自ら朝貢を約した。

帰国した皇后は宇美にて皇子誉田別命を出産。その後、筑紫を離れ、穴門の豊浦宮に戻り、船で大和を目指す。

畿内に近づくと、誉田別命の異母兄にあたる二人の皇子が反乱を起こすが、これを討伐する。その後、大和の磐余(奈良県桜井市)に若桜の宮を建て、皇子を皇太子とし、皇后が摂政として政務を執り行った。69年間摂政を務め、100歳で崩御。翌年、皇太子の誉田別命(応神天皇)が即位した。

※注1:「おきながたらしひめ」の漢字表記は古事記では「息長帯比売命」日本書紀では「気長足姫尊」などと異なる。神社縁起でも表記が異なる。

※注2:異伝では戦いの最中に熊襲の矢が当たって死去した。または、神託を受けている最中に亡くなったとある。

※注3:古事記では「建内宿禰」。日本書紀では「武内宿禰」。読み方は複数ある。「たけしうちのすくね」「たけのうちのすくね」など。

神功皇后伝承のロマン

— 福岡県全域に残された伝承の謎 —

聡明で容姿端麗。皇后でありながら神のお告げを伝える不思議な霊力をもつ巫女。懐妊中にもかかわらず男装し、海を渡る… 謎に満ちた古代日本のヒロイン神功皇后。

神功皇后は、古事記や日本書紀の記述では大活躍していますが、その実在性には論争があります。神功皇后は伝説の人物なのか?それとも歴史上の人物だったのか?古代ロマンを大いに駆り立てる謎になっています。

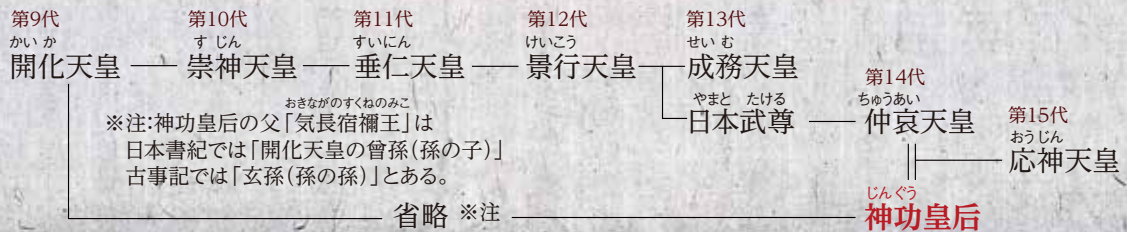
歴史学上の論争はともかく、神功皇后は福岡の地でおよそ1600年以上(※注)大切にお祀りされてきました。また福岡県には神功皇后ゆかりの土地や史跡が数多く存在します。福岡県に来れば、古代日本の謎に迫れます。

ぜひ「福岡 古代ロマンの旅」へお越しください。

※注:記紀の記述に従えばおよそ1,800年前の人物で、実在説を唱える研究者によれば、4世紀末または5世紀初頭(およそ1,600年前)の人物と云われています。

神功皇后系図

父は開化天皇曾孫(※注)で、神功皇后も天皇家の血をひく。夫は第十四代仲哀天皇。宇美で出産した皇子が、第十五代応神天皇。



福岡県内の『神功皇后』ゆかりの神社

かつて筑紫と呼ばれた現在の福岡県を舞台に神功皇后は活躍しました。

そのため福岡県の歴史ある神社には神功皇后の足跡がしっかりと刻まれています。

ここに紹介するのは、ほんの一部です。神功皇后伝承とともに福岡県の神社をめぐってみましょう。

香椎宮 記紀の舞台「行宮 檀日宮」



香椎には熊襲の反乱を鎮めるために筑紫に遠征した仲哀天皇と神功皇后の行宮(仮の御所)檀日宮(かしひのみや)があったとされる。仲哀天皇が香椎にて崩御。その後、皇后は海を渡り新羅に遠征。帰国後、皇后自ら仲哀天皇の御霊を祀ったのが香椎宮の起源とされる。現在は、主祭神として仲哀天皇と神功皇后をお祀りし、全国に16社、九州では2社しかない勅祭社の1つとして10年に1度勅使(天皇の使者)をお迎えし、祭儀を執り行っている。国内唯一の様式「香椎造り」の本殿は国の重要文化財。

福岡市東区香椎 4-16-1
TEL : 092-681-1001
公式HP <http://kashiigu.com/>

JR香椎線「香椎神宮駅」から徒歩3分
西鉄バス「香椎宮前」下車すぐ

住吉神社 日本第一住吉宮



神功皇后の新羅遠征にご加護を与えたという航海と海上の守護神である住吉三神(表筒男、中筒男、底筒男)が主祭神。大阪、下関とともに日本三大住吉と云われる。全国に多数ある住吉神社の中でも当社が最初の神社と云われており、「住吉本社」「日本第一住吉宮」などと古書に記されている。社殿は神社建築史上最古の特殊な様式「住吉造」で国の重要文化財。境内には西日本有数の能舞台「能楽殿」をはじめ歴史的名所や施設が多数ある。都心にあるが、境内に一步踏み入れば、静寂で神秘的な空間が広がる。

福岡市博多区住吉 3-1-51
TEL : 092-291-2670 (9:00~17:00)
公式HP <http://chikuzen-sumiyoshi.or.jp/>

JR「博多駅」から徒歩10分
西鉄バス「住吉」下車、徒歩2分

宮地嶽神社 日本一の注連縄と巨石古墳



神功皇后が渡韓の前にこの地に滞在し、宮地嶽山頂から玄界灘を臨みて祭壇を設け、航海の無事を祈願したと云われる。神功皇后を主祭神とする約1700年の歴史を誇る神社で、日本一大きい注連縄がシンボル。奥の宮三番社不動神社には日本最大級の巨石古墳「丸塚古墳」があり、出土品は数百点を数え、いずれも歴史的価値が高く、うち20点がそれぞれ国宝に指定されている。また境内には桜、牡丹、菖蒲、紫陽花など多くの花があり、四季を通して楽しめる。

福津市宮司元町 7-1 TEL : 0940-52-0016
公式HP <http://www.miyajidake.or.jp/>

JR「福岡駅」から徒歩25分。
西鉄バス「神社前」下車。

日本三大八幡宮 **はこざきぐう 宮崎宮** 名だたる武将が崇拝した武運の神



宮崎宮は宮崎八幡宮とも呼ばれ、京都の石清水、大分の宇佐とともに日本三大八幡宮の一つ。応神天皇を主祭神とし、神功皇后、玉依姫命（神武天皇御生母）とともに祀る。神功皇后が応神天皇を宇美にて産んだ後、その胎衣を箱に収めて埋め、松を植えたので「宮松」と呼び、宮松のある岬との意味から「宮崎」と呼ばれるようになったとの伝承がある。博多三大祭り「放生会」が毎年9月に行われる。



本殿・拝殿（国指定重要文化財）



神木「宮松」

福岡市東区箱崎 1-22-1 TEL：092-641-7431
公式HP <http://www.hakozakigu.or.jp/>

市営地下鉄「箱崎宮前駅」徒歩3分
西鉄バス「箱崎」下車、徒歩3分

歴史の舞台 宮崎宮

元寇 蒙古襲来では戦場となり本殿が炎上。秀吉の九州征伐では本陣が置かれ、利休が茶会を開いた。八幡神は武運の神であり、日本中の武家から尊崇を集めた。足利尊氏、大内義隆、豊臣秀吉、小早川隆景、黒田長政など数々の武将が参詣し、宮崎宮を手厚く保護してきた。境内には亀山上皇御尊像はじめ国および県指定の重要文化財が多数あり、歴史ファン必見の神社。

子安の杜 **うみ 宇美八幡宮** 應神天皇御生誕地



神功皇后が新羅遠征からの帰途に應神天皇をご出産された聖地。宇美の地名も産みに由来。ただし、地名の由来は邪馬台国時代の不弥国に由来するとの説もある。また産屋の四辺に八つの幡を立て、兵士に守らせた故事から應神天皇を八幡神と称するようになったとの伝承がある。「子安の木」や「産湯の水」など関連史跡が多く、安産と育児の守護神として篤い信仰を集めている。また境内には30余の大樟がそびえ、神々しく清々しい雰囲気包まれている。

宇美町宇美 1-1-1 TEL:092-932-0044
公式HP <http://www.umi-hachimangu.or.jp/>

JR「宇美駅」下車 徒歩5分
西鉄バス「宇美八幡前」下車すぐ

住吉神社のルーツ **あらひと 現人神社**



流鏝馬神事
（例年10月第3日曜日）

筒男の三神を祭祀した最も古い神社。神功皇后が渡韓の際、筒男三神の御加護で航海が無事だったことに感謝し、当社に現人大明神の尊号を授けたのが社名の由来。のちに現人大明神の和魂は大阪摂津の住吉でも祀られ、住吉三神と呼ばれるようになったため、当社が全国に広まった住吉信仰のルーツとされる。毎年10月には流鏝馬神事が執り行われる。

那珂川町仲3-6-20 TEL：092-952-2152
公式HP <http://www.arahito.com/>

JR「博多南駅」から徒歩27分
かわせみバス「現人神社」下車すぐ

万葉集にも登場 **ちんかいせき 鎮懐石八幡宮**



身重の神功皇后が新羅遠征へ向かう際、卵型の美しい2つの石を肌身に抱き出産延期を祈ったと云う。帰国後、無事ご出産された皇后はこの地の丘にその石（鎮懐石）を拝納されたと伝わる。奈良時代、この地を訪れた山上憶良によって詠まれた歌が万葉集に収められた。その故事にちなみ、江戸時代に建てられた九州最古の万葉歌碑がある。

糸島市二丈深江 2143-1 TEL：092-325-0309
糸島市HP <http://www.city.itoshima.lg.jp/>

JR筑肥線「筑前深江駅」下車、徒歩10分

海人族の拠点「龍の都」 **しかうみ 志賀海神社**



玄海灘を臨む交通の要衝として古来より聖域視されていた志賀島に鎮座。海の神霊である綿津見三神を奉斎し、「海神の総本社」「龍の都」と称えられ、海の守護神として篤く信仰されている。航海技術に長け、海上交易を担っていた海人族の阿曇（あずみ）氏が代々祭祀を司る。伝承によれば神功皇后が新羅遠征の際に志賀島に立ち寄り、阿曇磯良（あずみのいそら）を召し出し、舵取りを務めさせたと云われる。

福岡市東区志賀島 877
TEL：092-603-6501
公式HP <http://www.shikaumi-jinja.jp/>

JR「西戸崎駅」から西鉄バス乗車、
西鉄バス「志賀島」下車、徒歩10分

日本書紀に登場 **おおなむち 大己貴神社**



日本書紀に「大三輪の社」として登場し、その記述を裏付ける貴重な神社。「神功皇后が新羅遠征のために兵を訓練しようとしたが、兵士の集まりが悪かった。『これは神の御心なのだろう』と皇后は考え、大三輪の社を建て、刀と矛を奉納した。すると軍兵が自然に集まった」とある。近くには羽白熊鷹を討つために建てた松峽宮の跡と云われる「松峽八幡神社」など皇后ゆかりの史跡が多い。

筑前町弥永 697-3
TEL：0946-24-5805
筑前町HP <http://www.town.chikuzen.fukuoka.jp/>

西鉄甘木線「甘木駅」より
西鉄バス乗り換え、西鉄バス「依井」
下車、徒歩24分

大宰府の鬼門を守る縁結びの神 **かまど 宝満宮 竈門神社**



大宰府政庁が置かれた際、鬼門に当たる宝満山に大宰府鎮護のために祀られたことが始まり。玉依姫命を主祭神とし、相殿に神功皇后と応神天皇を祀る。玉依姫命は神武天皇の御生母。神功皇后は玉依姫から姉妹の契りを交わす神託を受けたと云う。神社が鎮座する宝満山には応神天皇ご出産の際に釜をかけ産湯を沸かしたとされる竈門岩がある。現在は縁結びの神として若い女性に大人気の神社となっている。

太宰府市内山883
TEL：092-922-4106
公式HP <http://www.kamadojinja.or.jp/>

西鉄太宰府線「太宰府駅」より
太宰府市コミュニティバス
「まほろば号（内山行き）」乗車、
終点「内山」下車すぐ。

地元で愛される「おふろうさん」 **ふうろうぐう 勝運守護 導之神 風浪宮**



神功皇后が新羅からの帰途、筑後葦原の津に寄港した際、白鷺が皇后の御船に忽然と現れた。皇后はその白鷺こそ我が勝運の道を開き給うた海の神である少童命の化身とし、白鷺が舞い降りた地に皇后の船団の海上指揮を執った阿曇磯良丸を齊主として少童命を祀らせたのが起源と云われる。また当宮は有明海の海洋民族の拠点でもあったと云う。国の重要文化財「本殿」「石造五重の塔」など見所が豊富。

大川市酒見 726-1
TEL：0944-87-2154
公式HP <http://www.ofurousan.jp/>

西鉄大牟田線「八丁牟田駅」より
西鉄バス乗り換え、西鉄バス「酒見」
下車、徒歩6分

霊峰高良山に鎮座
筑後國一之宮 **高良大社**

筑後エリア
MAP 12



古くは高良玉垂命神社と呼ばれた。縁起によれば、神功皇后が四王子嶺に登って祈りを捧げたところ、高良玉垂命が初めて現れたとある。江戸期に再建された社殿は神社建築として九州最大級で国の重要文化財。当社のある高良山は古来から軍事的要衝で、各年代で山城などが築かれている。2015年11月に自然の中でトレッキングを楽しむ九州オルレ「久留米・高良山コース」がオープンした。

久留米市御井町1番地
TEL：0942-43-4893
公式HP
<http://www.kourataisya.or.jp/>

「JR久留米駅」または
「西鉄久留米駅」にて西鉄バスに
乗り換え、「御井町」バス停で下車し、
徒歩20分

玉垂命信仰の中心地
日本三大火祭 鬼夜 **大善寺玉垂宮**

筑後エリア
MAP 13



鬼夜(おによ)
(国の重要無形民俗文化財)
毎年正月7日に行われる。

日本三大火祭りの一つである鬼夜が行われる玉垂宮は玉垂命、八幡大神、住吉大神が祀られている。神功皇后の新羅遠征に功績のあった藤大臣(高良大明神・玉垂命)がここで没したと云われる。天武天皇の頃、神仏習合思想に基づき高法寺が開かれ、嵯峨天皇の時代に大善寺と改称された。寺院と神社が一体となった典型的な神仏習合の神社であったが、明治政府の廃仏毀釈を経て現在は神社のみになった。

久留米市大善寺町宮本 1463-1
TEL：0942-27-1887
ほとめきの街 久留米HP
<http://www.kurume-hotomeki.jp/>

西鉄大牟田線「大善寺駅」より
徒歩5分
西鉄バス「宮前」下車、徒歩3分

新羅遠征軍解散の地
宮崎宮の元宮 **大分八幡宮**

筑豊エリア
MAP 14



神功皇后は宇美で出産後、穴門の豊浦宮に向かうが、「ショウケ越え」と呼ばれるルートを通り、飯塚市に至る。この地で筑紫の政治方針を定め、従軍兵を解散(おおわかれ)させたことから、この地を「おおわけ」と呼び、後に「だいぶ」と読むようになった。大分八幡宮が宇佐神宮の本宮であり、宮崎宮の元宮であると云う。また飯塚市中心部には皇后ゆかりの曩祖八幡宮もある。

飯塚市大分 1272
TEL：0948-22-3511 飯塚観光協会
飯塚市観光ポータル
<http://www.kankou-iizuka.jp/>

JR福北ゆたか線
「筑前大分駅」より徒歩15分

皇后の祈りで風が治まった
川渡り神幸祭 **風治八幡宮**

筑豊エリア
MAP 15



元々、海津見神を祀る社であり、朝鮮半島からご帰還した神功皇后が穴門の豊浦宮に向かう途中、この地で暴風雨に遭い、足止めをされてしまう。皇后は社前の大石に腰掛けられ、太刀を奉納し、天神に祈ったところ暴風雨が治まったとの伝承がある。社名はこの伝承に由来している。福岡県五大祭りの1つで絢爛豪華な「川渡り神幸祭」が毎年5月に開催される。

田川市魚町 2-30
TEL：0947-42-1135
公式HP <http://fuuji.net/>

JRおよび平成筑豊鉄道
「田川伊田駅」より徒歩3分

伝統行事『細男舞 神相撲』
古表八幡 **八幡古表神社**

北九州エリア
MAP 16



社伝によれば、欽明天皇の時代に、この地に住む翁の前に神となった神功皇后が現れ、社を建てるように神託を与えたことが起源。神社の近くに皇后が祭壇として使ったと伝わる皇后石がある。国の重要文化財「木造女神騎牛像」と呼ばれる牛にまたがった神功皇后の木像をはじめ多くの宝物を所蔵。4年に1度行われる木彫りの神像を操って舞と相撲を披露する「細男舞 神相撲」の伝統行事でも有名。

吉富町小犬丸 353-1
TEL：0929-22-3237
公式HP
<http://www.kohyouujinja.jimdo.com/>

JR「吉富駅」より車で3分、徒歩15分
JR「中津駅」より車で10分

小倉藩の大社
祈願成就の社 **篠崎八幡神社**

北九州エリア
MAP 18



神功皇后が穴門の豊浦宮に向かう途中、高尾山山頂の大石に皇子を立て、門司から穴門の方を望み、「穴門は近し」といわれた。584年敏達天皇の勅命によって、この故事に基づき神社が建立された。その後、藤原純友の乱や大友宗麟の兵火にかかるなどたびたび戦火に見舞われたが、江戸時代小倉を所領とした細川氏および小笠原氏により手厚い保護を受けてきた。

北九州市小倉北区篠崎 1-7-1
TEL：093-561-6518
公式HP
<http://www.shinozakihachimanjinja.or.jp/>

JR「南小倉駅」東口より徒歩10分
西鉄バス「篠崎橋」下車、徒歩7分

皇后の忠臣を祀る
若松の地名発祥 **若松恵比須神社**

北九州エリア
MAP 17



筑紫へ向かうため皇后の御船が洞海湾を進まれた時、急に船が進まなくなった。重臣の武内宿禰が海底を調べさせたところ、海の底から神々しい玉石が発見された。この玉石を「海の神が船旅を守るといふ御心のしるし」として祀ったのが神社の起源とされる。のちに武内宿禰は再びこの地を訪れ、海辺の若々しい松を愛でたことから、この地を若松と呼ぶようになったと云われる。

北九州市若松区浜町 1-2-37
TEL：093-771-1156
公式HP
<http://wakamatsu-ebisu.jp/>

JR若松線「若松駅」徒歩10分
市営バス「若松区役所前」下車、
徒歩3分

関門海峡の守護神
九州最北端 **和布刈神社**

北九州エリア
MAP 19



和布刈神事
(福岡県無形民俗文化財)

神功皇后が三韓より凱旋後に創建されたと云われ、関門海峡の守護神として尊崇を集める。平安時代末期、源平合戦における最後の決戦「壇之浦の戦い」前夜には平家一門が当神社に戦勝を祈願し、酒宴を開いたと伝わる。毎年旧暦の元旦の干潮時に三人の神職が厳寒の海に入り和布(わかめ)を刈り取って神前に供える福岡県無形民俗文化財の「和布刈神事」が行われる。

北九州市門司区大字門司3492
TEL：093-321-0749
公式HP
<http://www.mekarijinja.com/>

JR「門司港駅」より
西鉄バスに乗り換え、
西鉄バス「和布刈神社前」下車すぐ

沖ノ島・宗像大社と神功皇后との縁

ゆかり

福岡エリア
MAP

20

2016年1月に政府により世界文化遺産への推薦が正式に決定された「『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産」。実は、この宗像も神功皇后にゆかりがあるのです。

宗像大社は交通安全の神様として福岡県民に親しまれていますが、神功皇后が渡海の際に航海の安全を宗像で祈ったことが由来との説があります。元々、宗像大社を守ってきた宗像(胸形)氏は志賀島の阿曇氏と同じく海人族だったといわれています。海人族は航海技術に長け、海上交易を生業としていました。宗像氏は朝鮮半島と海上交易を盛んに行っており、沖ノ島に残された膨大な数の遺物がその盛んな交易を偲ばせます。宗像大社(辺津宮)の境内にある「神宝館」では沖ノ島で出土した8万点の文化財を収蔵展示しており、8万点すべてが国宝に指定という圧倒的なスケールです。



宗像大社 へつみや
辺津宮

福岡県宗像市田島2331 TEL:0940-62-1311
公式HP <http://www.munakata-taisha.or.jp/>

JR鹿児島本線「東郷駅」より西鉄バス乗り換え、
西鉄バス「宗像大社前」下車すぐ

神功皇后ゆかりの神社

